



富山神通LC 200%例会 出席報告

日時：2005年11月24日(木)12:15 ~ 13:30
場所：富山第一ホテル



L. 廣瀬 淳史

11月24日(木)富山神通ライオンズクラブ第888回例会(2Z第1回200%例会)が富山第一ホテルにて開催されました。

富山神通ライオンズクラブは87名の会員を有し、本年度のスローガンは『神通の知性を高めて和の奉仕』であります。当クラブからは10名出席し、総勢100名程の大規模な例会となりました。来賓には、334 D地区1R2ZC:辻井益雄Lが招かれ、始めて開催される200%例会に向けてお祝いの

言葉を述べられました。又、音楽プロデューサーの宮原麻子さんが『本物の芸術を楽しむために』を題目に公演を開催されました。

今回始めて他クラブの例会に出席し、例会の進め方、雰囲気等に違いがあるなど感じました。又、当クラブが例会を進めていく上での参考にすべき点などが多数あるように思いました。今後、200%例会が2Z内の7クラブでそれぞれ開催されます。2Z内の7クラブの交流を深める非常に有意義なイベントだと思いました。

年末の交通安全アクティビティ報告

日時：2005年12月12日(月)10:00 ~ 10:45
場所：安野屋小学校



L. 寺腰 一

松川周辺での清掃美化活動は主要なアクティビティですが、「交通事故0“ゼロ”」への活動も同様に重要な活動の一環です。昨年12月12日(月)に、牛島会長、石坂第一副会長、笠木PR会報IT委員長、山澤Lと私の5名で安野屋小学校を訪れ「交通事故0“ゼロ”」を願って啓発チラシ150枚を渡し、児童に交通安全を呼びかけました。

チラシは県警本部交通企画課より資料提供を受け、富山中央警察

署交通一課や小学校の先生と内容を検討し、PR会報委員会のメンバーが「交通安全3つの約束」

1. 道路で遊ばない
2. 夜間は反射材を身に付ける
3. 車に乗る時はシートベルトをしめる

以上3点を親しみ易いコミック調イラストでグラフィック処理したカラーチラシです。

牛島会長がチラシの主旨を説明し、児童会代表の牛島香さん(偶然にも会長と同姓)に手渡すと、牛島さんから「全校児童に交通安全の輪を広げたい」と感謝の言葉がありました。

元気に校庭を走りまわる顔、素朴で底抜けに明るい笑顔、好奇心一杯で何でも吸収しようとする顔、そんな顔、顔をみるにつけ、将来地域を背負って立つ児童、とかく交通弱者と呼ばれる児童たちが交通事故にあわず、幸福な成長をする為にも、私たちの奉仕活動の重要性を痛感したひとときでした。



会員 一口スピーチ紹介

今回は、1名の会員のスピーチをご紹介します

L丸山 忠正

保護司になったきっかけ



私が保護司になったのは、郵便局に勤めていた時からいろんな役職を兼務していたので、前婦中町の町長さんや、吉田会長にすすめられたからです。そして、保護司になって早2年が過ぎました。

保護司の使命は犯罪を犯したものを更生し、且つ予防(再犯)することであると保護司手帳に書いてあるとおりで、ライオンズの目的と似ている。

組織としては、民間のボランティア団体で、法務大臣の委嘱を受け、保護監察官と協力して、犯罪や非行をした人

の指導・援助や犯罪予防活動などして、オープンになっていて、更生施設は太郎丸にある。

しかし、犯罪の予防や援助等は保護司頼みとな

っていて時代のニーズにあってなくなってきているし、保護司全体の数も足りない。今の世の中に合致した総合の保護観察制度が求められている。

私はこの仕事をして思うことは、「ひまわりの歌」にあるように『人は皆生かされて生きている』そして家庭教育が一番大切だということです。

